

石炭ガス化研究炉

【設置目的】

数多くの機能・特殊計測機器を備えた研究用ガス化炉である本設備により、石炭ガス化複合発電（IGCC）の実用化・普及促進に必要な不可欠である、ガス化炉運転信頼性の確保や炭種評価・拡大化技術の開発、低コスト化技術の開発を行う。

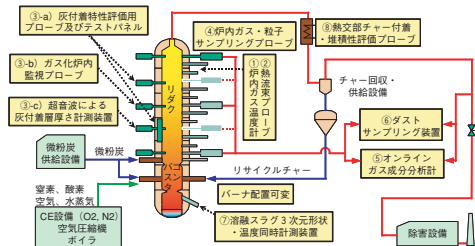
【主な仕様】

本設備は、石炭乾式供給の加圧噴流床方式ガス化炉である。基本仕様および機能・特徴を以下の通りである。

- (1) 石炭処理量：3トン／日
- (2) 炉内圧力：2 MPa
- (3) ガス化剤：空気／酸素／水蒸気
- (4) 特殊計測機器：
 - a) 炉内ガス温度計
 - b) 熱流束プローブ
 - c) 灰付着評価プローブ・テストパネル
 - d) 炉内ガス・粒子サンプリングプローブ
 - e) オンラインガス分析計
 - f) ダストサンプリング装置
 - g) 熔融スラグ流動・排出監視装置

【設置場所・時期】

エネルギー技術研究所、平成16年2月



石炭ガス化研究炉の系統概略



設備建屋外観



コンバスタ部